

この1年を振り返って

京都府中学校体育連盟
会長 森 淳

令和3年度の「京都府中学校体育連盟報告書」が発行される運びとなりました。本年度も、京都府中学校体育連盟の諸事業に対しまして、皆様方から多くの御指導と御支援を賜り、誠にありがとうございました。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でしたが、各役員及び理事・各専門部の部長・専門委員長・専門委員の先生方には、競技運営等に御尽力いただき各事業を無事に終えることができました。特に京都府中学校総合体育大会では、新型コロナウイルス感染症対策を十分に図り、安心・安全な大会を開催することができました。具体的な感染症対策として、無観客開催、大会関係者及び選手全員のマスク着用や消毒の徹底、事前・事後の健康チェック等、プレイヤーズファーストの理念に基づき、生徒の安心・安全及び生命を守ることを最優先とする運営を行ったことで、これまで部活動を熱心に取り組んできた生徒にとって思い出に残る有意義な大会とすることができました。

8月下旬に行われた全国中学校体育大会では、団体において京都市立桂中学校男子水泳競技部が2位、京都精華学園中学校女子バスケットボール部、京都光華中学校ソフトテニス部が3位など、6種目で7団体が入賞を果たしました。また、個人では、水泳競技4×100mメドレーリレーでの京都市立桂中学校男子の優勝をはじめ、3種目で21名が入賞を果たしました。さらに、全国中学校駅伝大会では、京都市立桂中学校男子が優勝、女子が3位の好成績を収め、個人では、区間賞2名をはじめ、8名の入賞を果たしました。冬季大会スケートでは、女子の部において、宇治市立広野中学校の島田麻央選手の優勝を含む5名が入賞を果たしました。

本連盟の主催事業については、今回で9回目を迎えるコーチングセミナー全体講義を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に万全を期す観点から、大変残念ではありましたが開催を中止いたしました。しかしながら、本連盟へ多大な御協力をいただくとともに、新型コロナウイルス感染症対応など多くの不安や負担の中で、多岐に渡り生徒の陰になり日向となって支援をいただいております部活動指導者の皆様に感謝申し上げますとともに、引き続き御支援賜りますようよろしくお願いいたします。

現在も新型コロナウイルス感染症の収束に兆しの見えない状況のある中で、今後も「新しい生活様式」における大会の在り方が求められます。「プレイヤーズファースト」の理念に基づき、本連盟策定のガイドラインを遵守し、指導者や生徒の気持ちに寄り添いながら、安心・安全及び生命を第一とする大会運営を引き続き徹底していきたいと思っております。

後になりましたが、「京都府中学校体育連盟報告書」の編集に御協力いただきました関係者の皆様方、日頃から本連盟の活動に対して御理解・御協力いただきました皆様方、そして、御指導・御支援を賜りました京都府教育委員会・京都市教育委員会・各市町（広域連合）教育委員会・（公財）京都府スポーツ協会・関係諸団体の皆様に心から御礼申し上げます。